

世界史

(問題)

2023年度

〈2023 R05173424〉

注意事項

- 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- マーク解答用紙記入上の注意
 - 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

- 記述解答用紙記入上の注意
 - 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒		3	8	2	5

- 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
- 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
- いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

メソポタミア南部では前3500年頃から人口が急激に増加し、その後城壁で囲まれたいくつもの都市が生まれた。前2700年頃までにはシュメール人の都市国家が数多く形成され繁栄したが、都市国家間の争いは絶えず、支配が安定しない時代が長く続くこととなる。^Aメソポタミアの都市とは構造などが異なるものの、古代エジプトでも都市はつくられた。たとえば、新王国時代に多神教から一神教への宗教改革をおこなったアメンホテプ4世は、中部エジプトに^BCを建設し遷都した。

一方、ギリシア世界ではミケーネ文明の滅亡後、前8世紀頃には各地でポリスと呼ばれる都市国家が成立していく。また、人口増加や耕地不足などを理由にギリシア人は地中海と黒海の沿岸各地に^D植民市を建設したが、^E植民市は本国を持つものの政治的には独立したポリスであった。

設問1 下線部Aのうち、イギリス人考古学者ウーリーが発掘し、「スタンダード」を含む多数の副葬品が出土した王墓群があるのはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ラガシュ イ バビロン ウ ウルク エ ウル

設問2 下線部Bの時代のエジプトについて、関連する説明で正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア テーベの王がヒクソスを追放して第18王朝が成立し、都は主に下エジプトのテーベに置かれた。
イ アメンホテプ4世による宗教改革は一代限りで終わったが、この王によって建設され遷都された中部エジプトの新たな都市は、王の死後も放棄されることはなかった。
ウ セティ2世はシリアのカデシュでヒッタイト王と戦い、その後記録で確認できる最古の平和条約を結び休戦した。
エ 外征によってシリアまで領土を拡大し、トトメス3世治世には最大の領土になった。

設問3 空欄Cで発見されたエジプトとオリエント諸国との当時の交流を示す外交書簡を何というか。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dの中心的な役割を果たし、守護神をまつる神殿が建てられ、防衛の拠点でもあった丘を何というか。記述解答用紙の所定欄にカタカナで記しなさい。

設問5 下線部Eに関して、南イタリアに建設された植民市はどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア メディオラヌム イ タレントゥム ウ ピザンティウム エ マッサリア

〔II〕 次の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

中国大陸では、漢王朝滅亡後、三国の分裂を経て、北方民族の流入によって華北に五胡十六国と呼ばれる異民族政権が次々と誕生した。一方、江南地方では、三国の呉がAに都を構えて以降、東晋・宋・齊・梁・陳といった王朝が交替をくりかえした。華北の異民族王朝に対して、南朝では特に学問の興隆がめざましく、^B六朝の文芸は仏教文化と共に、朝鮮半島の百済を通して新羅や日本列島にも伝わった。

やがて南北諸王朝を統合した隋・唐に至ると、高句麗遠征をおこなうなど、東方では大きな変動もたらされた。やがて百済・高句麗の滅亡後に、朝鮮半島から中国東北地方にわたる地域では、新たな秩序が形成された。巨視的にみれば、ここに至る朝鮮半島や日本列島の歴史は、中国王朝との交渉が始まる紀元前から800年以上におよぶ中国文明の受容過程でもあった。漢字・儒教・漢訳仏教・律令といった中国に起源する文化の受容によって形成された東アジア文化圏は、こうした戦乱と興亡の果てに形成されたとみることができる。

7世紀後半以降、東アジア文化圏では唐を中心とした国際秩序が形成されたが、この地域は孤立した世界ではなかった。大陸や

海を通してイスラーム世界ともつながり、ペルシャ湾からインド洋を経て、8世紀に至ると、中国東南の広州・**F**・泉州などの交易港にムスリム商人が訪れた。

設問1 空欄 **A** にあてはまる現在の地名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部 **B** に関連して六朝の文化について、次のア～エを古い方から年代順にならべると四番目はどれか、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 昭明太子が全30巻からなる詩文集『文選』を編集した。
- イ 「桃花源記」の作者である陶淵明が活躍した。
- ウ 平安時代の書の源流と言われる書家の王羲之が活躍した。
- エ 「女史箴図」を描いた顧愷之が活躍した。

設問3 下線部 **C** に関連して、次のア～エの中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 大祚榮は靺鞨人と高句麗遺民を糾合して旧高句麗の地に渤海を建国した。
- イ 百濟の滅亡後、倭国は百濟復興の援軍を送ったが、白村江で敗戦した。
- ウ 8世紀に入ると日本は渤海・新羅との交流を絶ち、遣唐使を派遣した。
- エ 新羅では仏教文化が花開き、仏国寺の多宝塔が往時の繁栄を伝えている。

設問4 下線部 **D** に関連して、次のア～エの中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 法顕がインドに入り仏跡をめぐり、各種仏典を得て帰国後にそれらの翻訳を行った。
- イ 漢の武帝の時代に儒学の主要な経典として五経が定められた。
- ウ 鳩摩羅什らの仏典翻訳は、中国での仏教布教に貢献した。
- エ 後漢では、董仲舒らによって訓詁学が発展し、経典の注釈が作られた。

設問5 下線部 **E** に関連して、8世紀後半を画期に海上交易が盛んになった要因として時代的にありえないものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 安祿山、史思明の反乱によって、洛陽・長安が占領された。
- イ 中央アジアのタラス河畔で、アッバース朝軍が唐軍に大勝した。
- ウ 王仙芝の反乱に呼応して、黄巢の乱が起こり長安を占領した。
- エ マンスールがティグリス川中流のバグダードに都を置いた。

設問6 空欄 **F** は煬帝の終焉の地といわれ、外国人居留地が設けられたが、その唐代の地名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

7世紀以降、アラブ・ムスリムの勢力圏が拡大する過程で、新たに包摂された地域やその周辺地域の文化・科学技術が幅広く受容され、さらに育まれていった。そして、接触する諸地域へ影響を及ぼしたが、とりわけヨーロッパへの影響は多大であった。その接触の拠点となったイベリア半島や **B** 島では、アラブ・ムスリムなどの統治下で多様な人々が活躍し、**C** 自然科学・科学技術の発展に基づく製造業や農業、国際交易の展開などによる繁栄が見られた。また、ワタ、レモン、オレンジ、イネなど多種の栽培植物も、ムスリム王朝の支配圏から移入された。

同様に、砂糖の生産技術もヨーロッパへ伝えられた。インドから西進したサトウキビによる砂糖生産は、7世紀初めにイラン・イラクへ広まり、その後、ムスリム王朝統治下の諸地域でも盛んになった。そして、砂糖やその製品はエジプトなどからヨーロッパ各地へ輸出され、**D** 莫大な富をもたらした。その後、砂糖の生産技術を学んだヨーロッパ人は、アメリカ大陸や西インド諸島など

で奴隷を用いた砂糖プランテーションを展開した。一方、コーヒーを飲む習慣も、ムスリム王朝の版図内からヨーロッパへもたらされた。この習慣はすでに15世紀頃には西アジアに広まっており、**E**の修行にも用いられた。大都市ではコーヒーハウスが流行し、その慣行もヨーロッパへ伝播した。

設問1 下線部Aを支配したムスリム王朝に関連して述べた次の文ア～エの中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 後ウマイヤ朝のアブド=アッラフマーン3世は、カリフを称した。
- イ ムワッヒド朝は、ベルベル人によって建てられた。
- ウ グラナダを首都としたナスル朝は、1492年に滅んだ。
- エ ムラービト朝は、ベニン王国を破って、内陸アフリカにイスラームが広まる道を開いた。

設問2 **B**島は、ルッジェーロ2世による統治下で、多民族が融和して栄えた。空欄**B**に入る語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cに関連して、8～12世紀におけるムスリム王朝統治下の地域の学術状況について述べた次の文ア～エの中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア バグダードの知恵の館では、ギリシア語の文献がアラビア語へ翻訳された。
- イ イブン=ルシュドは、アリストテレスの著作の注釈をおこなった。
- ウ フワーリズミーは、代数学を発展させた。
- エ ガザーリーは、シーア派の学問を集大成した。

設問4 下線部Dに関連して、アイユーブ朝期やマムルーク朝期を中心に、カイロやアレクサンドリアなどを拠点として、インド商人とイタリア商人とを仲介する東西交易に従事して大きな財を成したムスリム商人集団の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 空欄**E**には、アッラーとの精神的合一を目指して修行に励んだムスリムに対する呼称が入る。空欄**E**に最もよく当てはまる語を記述解答用紙の所定欄にカタカナで記しなさい。

〔IV〕 次の文章を読み、設問1～8に答えなさい。

中近世ヨーロッパの歴史は教皇権の盛衰とともに推移した。使徒ペテロを初代司教とするローマ司教は、初期中世になると教皇を名乗り、キリスト教世界での首位権を主張した。11世紀半ばに教皇は、教会改革を主導したが、その結果、多くの改革修道院が生まれる。11世紀末にブルゴーニュ地方の**B**に創建された修道院はその一つである。教会改革からはまた、托鉢修道会も生まれ、説教を通じ民衆教化にあたった。13世紀前半に托鉢修道会士は、教皇の命でモンゴル帝国の首都**C**にまで派遣された。

しかし、13世紀末から14世紀初めに、教皇権はフランス王権との抗争に敗れ、教皇の座所もローマからアヴィニョンに移転する。さらに、百年戦争が始まると、14世紀後半のオクスフォード大学では教皇権を批判する神学者も現れ、教皇の権威は次第に失墜した。その後、**D**、**E**による活版印刷術の発明により、書物の大量印刷が可能になると、教皇権を批判する神学者の書物が流布し、宗教改革を引き起こした。これに対し、教皇はプロテスタント関係の書物の禁書目録を出し思想統制をおこなったが、実際は、カトリック側も多くの宗教書などの書物の刊行を手掛けている。とくに、**F**、**G**、**H**、ヨーロッパ外での布教を担ったイエズス会士は、中国では現地の木版印刷を用い、宗教書だけでなく自然科学の書物も漢訳して刊行し、西洋文明の東アジアへの伝達に大きく貢献した。

設問1 下線部Aの内容に関連して、6～11世紀におけるキリスト教世界の動きについて、次のア～エの中から、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 教皇レオ3世がカールの皇帝戴冠をおこない、カトリック教会は正教会と異なる道を歩むようになった。
- イ 教皇権を発展させたグレゴリウス1世は、イングランドに宣教師を派遣した。
- ウ 小ピピンが教皇領の寄進をおこなった見返りに、教皇は小ピピンの王位を認めた。
- エ ハンガリーでは、イシュトバーン1世が教皇から初代の王位を認められた。

設問2 空欄 **B** に入る地名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 空欄 **C** に入る地名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dに関連して、次のア～エの中から、古い方から三番目に当たるものを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 戦費の重税が一つのきっかけとなり、フランス北部でジャックリーの乱が起こった。
- イ 黒死病がヨーロッパで大流行し、数年で人口の約3分の1が失われた。
- ウ イギリス軍がクレシーの戦いでフランス軍に勝利した。
- エ ジャンヌ＝ダルクが指揮したフランス軍がオルレアンでイギリス軍に勝利した。

設問5 下線部Eの神学者に関連する以下の文章のうち、次のア～エの中から、もっとも適切なものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 聖書をヘブライ語とアラビア語の原典から初めて英語に訳した。
- イ ワット＝タイラーの乱に参加し、「アダムが耕シイヴが紡いだとき、誰が貴族だったのか」と民衆に説教した。
- ウ コンスタンツ公会議に召喚され、異端として火刑に処せられた。
- エ 彼が在籍したオクスフォード大学はイギリス最古の大学である。

設問6 下線部Fに関連する以下の文章のうち、次のア～エの中から、もっとも適切なものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ルターの「九十五カ条の論題」は、グーテンベルクにより大量印刷された。
- イ グーテンベルクはロンドンで冶金技術を学び、金属活字を考案した。
- ウ グーテンベルクは葡萄压榨機を改造して、プレス式の印刷機を考案した。
- エ グーテンベルクの『四十二行聖書』は大量印刷され、民衆が読む標準的な聖書となった。

設問7 下線部Gに関連する以下の文章のうち、次のア～エの中から、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア カトリック教会は、対抗宗教改革の過程で禁書目録を作成した。
- イ デイドロヤダランベールが編纂した『百科全書』は、一時発禁処分になった。
- ウ 乾隆帝が命じた『四庫全書』の編纂は、禁書の搜索という思想統制の役割も果たしていた。
- エ エラスムスが書いた『天球回転論』は、教会当局により禁書になった。

設問8 下線部Hに関連して、この修道会士で、古代ギリシアのエウクレイデスの著作を漢訳した修道士の漢字名はどれかを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 南懐仁
- イ 利瑪竇
- ウ 郎世寧
- エ 湯若望

〔V〕 次の文章を読み、設問 1～6 に答えなさい。

歴代中華帝国の諸宗教に対する政策において、公認の授与はその主軸の一つであった。仏教・道教の僧・尼・道士・女冠（女性の道士）に対しては、早くも 8 世紀以前に、中央政府の関連官庁がその出家の証明書（「度牒」）^{A B}を発行する制度が定着した。また、個別の宗教施設に対しては、皇帝や関連官庁の名義で扁額を授与したり（「賜額」）、その保護を命じる聖旨（皇帝のお言葉・命令）を賜るなどの方法で存続の公認や資産の保護がおこなわれた。同時に、公認を得ない宗教勢力には、帝国による弾圧の対象となる可能性が常につきまとうことになる。大元ウルス（元朝）の支配下ではじまるムスリムの人口増大や、16 世紀後半からのカトリックのアジア布教をへても、皇帝の権威にもとづく公認は、宗教勢力の安定した存続と発展において、依然として大変重要であった。いったん公認が授与・確認されれば、それは帝国内での自己の立場の向上に直結したからである。その一方で、宗教・政治思想への統制が緩むことはなく、皇帝の権威を否定するような言説は弾圧され、公認の撤回をもたらした。^F

設問 1 下線部 A に関連して、早くも 4 世紀後半から開削が始まった、甘肅省敦煌の付近に存在する石窟寺院を、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ベゼクリク千仏洞 イ 雲崗石窟 ウ 莫高窟 エ 天竜山石窟

設問 2 下線部 B に関連して、12 世紀の北中国で全真教の開祖となった人物の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 下線部 C に関連して、弥勒下生などの仏教的な世界観が特徴とされ、いくつかの大規模反乱の主体として糾弾された宗教勢力を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 白蓮教 イ 正一教 ウ 真大道教 エ 太一教

設問 4 下線部 D に関連して、当時の中国でのイスラームへの改宗者には、大元ウルス（元朝）の西北地域を治めた、フビライ＝ハーンの孫のアナンダ（1307 年没）もいた。13 世紀後半から 14 世紀初頭の中央アジアで、フビライヤアナンダに敵対する勢力を率いたオゴダイ＝ハーンの孫の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E に関連して、中国を中心とした東アジアにおいて、カトリックの宣教師が問題視し、その布教の障害となった行為を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 科挙受験 イ 商業活動 ウ 軍隊への参加 エ 祖先祭祀

設問 6 下線部 F に関連して、こうした中、明末清初に生きた著名な知識人で、自らが参加した抗清闘争が失敗した後、隨筆集『日知録』などで、歴史上の文献に対する精緻な考証のみならず、広汎な社会・政治批評をおこなった人物の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔VI〕 次の文章を読み、設問 1～8 に答えなさい。

1794 年 7 月、フランスでは「A 9 日のクーデタ」とよばれる事件が起こり、1793 年 6 月以来のロベスピエールを中心とする独裁的なジャコバン派政権が崩壊した。1789 年に勃発し、旧制度（アンシャン＝レジーム）を覆したフランス革命は、終焉期に入ったのである。クーデタ後、ジロンド派が復活して革命は反動化し、1795 年秋には、新憲法（1795 年憲法）を制定し、総裁政府が成立した。この政府は、インフレによる物価騰貴や左右両勢力の攻撃により不安定であり、1796 年には、E による総裁政府転覆の計画が発覚した。政権を握った有産市民層や、革命で土地を得た農民層は、強力な権力による政治の安定を必要としたが、この状況下で登場したのが、ナポレオン＝ボナパルトであった。

ナポレオンは、コルシカ島生まれの軍人で、総裁政府の下で王党派の暴動を鎮圧して有名になった。さらに 1796 年、イタリア方面軍司令官となってオーストリア軍を破り、イギリスの呼びかけで結成された第 1 回対仏大同盟を解体させ、1798 年には、イギリスとインドとの通商を阻止する目的で、G 遠征をおこなった。1799 年までに、イギリスが第 2 回対仏大同盟を結成したため

に、総裁政府は再び危機に直面したが、帰国したナポレオンが、1799年11月にクーデタを起こして総裁政府を打倒した。ナポレオンは3人の統領（コンスル）・四院制から成る統領政府をつくり、みづから第一統領となって政権を掌握した。ここからナポレオンの第一帝政にいたる独裁体制が始まったのである。

設問1 空欄 **A** に当てはまる語は何か。記述解答用紙の所定欄にカタカナで記しなさい。

設問2 下線部 **B** に関連して、ロベスピエールを中心とするジャコバン派政権の政策について述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア キリスト教信仰に代わる、理性崇拜さらには最高存在の崇拜を定め推進した。
- イ 公安委員会を独裁政治の拠点として、政治・経済・軍事の指導・統制をおこなった。
- ウ 革命暦の採用が決定され、共和政開始の1792年9月を紀元とする暦が使用された。
- エ 教会財産の国有化や聖職者の公務員化を可決し、改革を始めた。

設問3 下線部 **C** に関連して、かつてジロンド派の指導者として主導権を握り、穏健共和派として活動した革命家は、次の人物の中で誰か。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア エベール
- イ ラ＝ファイエット
- ウ シュエイエス
- エ プリッツ

設問4 下線部 **D** に関連して、フランス革命期の憲法について述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1789年5月に招集された三部会の第三身分議員は、みづからが国民全体を代表する国民議会を結成し、さらに憲法制定国民議会と改称した。
- イ 1791年憲法は、フランス最初の憲法であり、一院制の立憲君主政を定め、選挙権を有産市民に限定した。
- ウ 1793年憲法は、人民主権、男子普通選挙、一院制議会を定め、6月に施行された。
- エ 1795年憲法は、共和政、制限選挙、二院制議会、5人の総裁を定めた。

設問5 空欄 **E** に当てはまる人物は誰か。記述解答用紙の所定欄に、人名を記しなさい。

設問6 下線部 **F** に関連して、イギリスはイギリス東インド会社を中心に、本国とインドを結ぶ交易に重点を置いたが、イギリスの活動について述べた次の文の中で、誤りを含むものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア インドのマドラス（チェンナイ）やカルカッタ（コルカタ）などに商館を置いた。
- イ カーナティック戦争やマイソール戦争でフランスを破り、インド支配の優位を決定づけた。
- ウ インドでのマラーター戦争やシク王国との戦争に勝利した。
- エ イギリス東インド会社は、インド大反乱の責任を問われ、1858年に活動を停止した。

設問7 空欄 **G** に当てはまる地名は何か。記述解答用紙の所定欄に、地名を記しなさい。

設問8 下線部 **H** に関連して、ナポレオンが第一帝政を開始するまでにおこなった政策や軍事行動の組み合わせとして、適切なものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 宗教協約（コンコルダート） — アミアンの和約 — 皇帝即位に関する国民投票の実施
- イ フランス銀行の設立 — ナポレオン法典の公布 — 大陸封鎖令
- ウ ライン同盟の結成 — トラファルガーの海戦 — テイルジット条約
- エ アウステルリッツの戦い — ロシア遠征 — ワーテルローの戦い

〔Ⅶ〕 次の文章を読み、図版を見て、設問1～4に答えなさい。

人類の歴史において、「聖なる存在」をどのように表すかは、常に大きな問題であった。ユダヤ教の預言者 **A** が神から受けとった「十戒」には、偶像崇拜を禁止する記述があった。ビザンツ帝国では8世紀から9世紀にかけて、**B** イコンの可否めぐって聖像禁止令（イコノクラスム）が発せられた。

今日、アジア各地の仏教寺院で多様な仏像を見ることができるが、仏教の発生当初はブツダを人のすがたで表現することは敢えて避けられ、さまざまな象徴的図像で代替された。やがて、イラン系の **C** 朝下のガンダーラやマトゥラーで **D** 仏像が製作されるようになった。その要因や契機はヘレニズム文化の影響だけでは説明できず、多角的に考えることが必要である。

設問1 空欄 **A** に入る人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

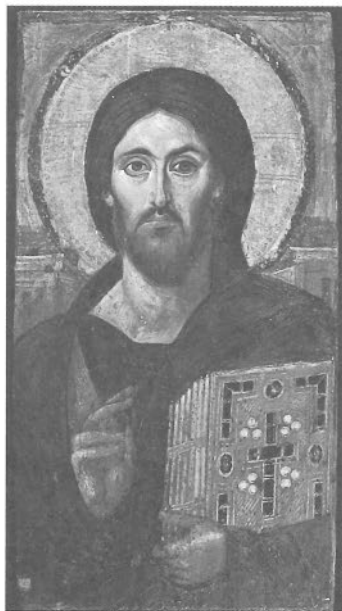
設問2 下線部 **B** に該当する作品を次のア～エの中から一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。



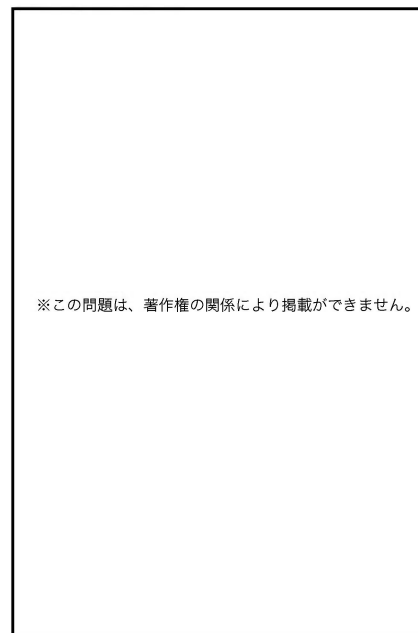
ア



イ



ウ



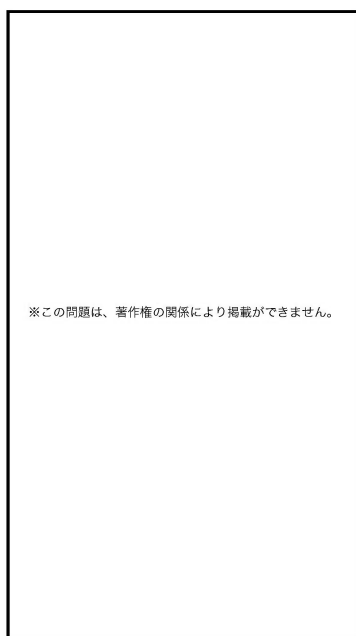
エ

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
© St Catherine's Monastery at Mt Sinai

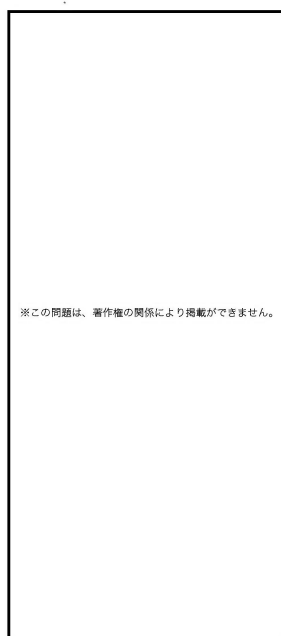
設問3 空欄 **C** に入る語を次のア～エの中から一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ササン イ クシャーナ ウ グプタ エ サータヴァーハナ

設問4 下線部Dの地域で作られた仏像を次のア～エの中から一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。



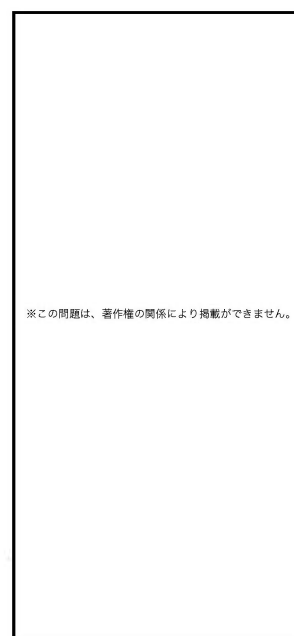
ア



イ



※ページ下部に出典を追記しております。



エ

〔以下余白〕

※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。
早稲田大学會津八一記念博物館所蔵

世界史

記述解答用紙

<2023 R05173424>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

〔I〕

3	
4	

〔II〕

1	
6	

〔III〕

2	
4	
5	

〔IV〕

2	
3	

〔V〕

2	
4	
6	

〔VI〕

1	
5	
7	

〔VII〕

1	
---	--

<2023 R05173424>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

〔I〕

--

〔II〕

--

〔III〕

--

〔IV〕

--

〔V〕

--

〔VI〕

--

〔VII〕

--